

## 愛知観光まちづくり推進リーダー懇談会 開催結果

- 1 期 日：平成 21 年 10 月 13 日（火）
- 2 場 所：県庁西庁舎第 12 会議室
- 3 出席者：愛知観光まちづくり推進リーダー（観光協会職員、観光ボランティアガイドなど全 14 名のうち 7 名出席）
- 4 内 容：観光振興基本計画（スケルトン）を提示し、次のような意見を聴取
  - 計画には、愛知らしさ、目玉事業が必要である。
  - 計画は全体的に堅いイメージがある。地域の皆さんに理解してもらうには、もう少しカジュアルな感じで書くべきである。
  - 旅行会社に愛知の観光のことを聞いても知らないという答えばかりである。こういう人たちに魅力のあるところを分かってもらう必要がある。海部地域には産業観光（飛島のロケット工場等）や武将観光（信長出生の地等）の観光スポットがたくさんある。素材は多いのだから、いかに組み合わせるかだ。
  - ウォーキングイベントを実施したところ、200 人程度の参加があり、高齢者の参加も多かった。「高齢者・障害者等にやさしい受入体制の整備」という視点は、高齢者と障害者に分けるべきである。
  - 地域の広域連携の取組、例えばソフト事業に対する補助等への支援が必要である。
  - 観光旅行者に対しては、温かいおもてなしが必要である。プロによる接客研修を行うべきである。
  - 観光振興に当たって、県・市町村・観光協会それぞれの役割分担が必要である。また、県庁内の部局間の連携も必要である。
  - 県観光協会と市町村観光協会との役割分担が分かるようにすべきである。
  - 予算面の制約がある中で、具体的な施策をどこまで実施できるかである。
  - 計画が絵に描いた餅にならないように、実施計画を作るべきである。